

## 岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果

施設名：ワークスくらよし

施設所在地：鳥取県倉吉市関金町関金宿2710-1

施設種別：就労継続支援B型

運営主体：社会福祉法人 慶光会

管理者：竺原 史郎

評価月日：令和3年3月12日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：A 事業指針、倫理綱領についてはホームページやパンフレットに掲載し周知している。職員や利用者、保護者には説明をおこなっている。が、利用者等にもう少し分かりやすい説明が必要となっている。
I-2 計画策定	評価：A 地域での自立を目指すための就労・経済面での保障を大きな目標に掲げ、事業計画を明確に示すことで、具体的に課題や問題点の解決に取り組んでいる。 日々進捗状況を把握しながら定期的な振り返りを持っている。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：A 職員集団をチームと捉え、リーダーシップを発揮し、ともに考えながらよりよい状況に進めていく取り組みを行っている。役割と責任を明確にし、職員に説明をおこなう必要がある。
II-1 経営状況の把握	評価：A 地域のニーズを捉えるため、様々な社会資源から情報収集を行っている。 現場重視になりがちになる為、外部への意識に注意を払う。
II-2 人材の確保・養成	評価：B より安定的な人材確保に向けて、求人活動等をおこなっている。 人事考課についての透明性が必要である。 職員との相談の機会を増やし、個人に合った研修・教育が必要となっている。

評価項目（中項目）	評 価 結 果
II-3 地域との交流と連携	<p>評価：B  地域住民に事業所の取り組みを知ってもらえるように、地域交流を課題に取り組んでいく。  ボランティア受入れ登録をおこない、積極的に受入れをおこなっていく。</p>
III-1 利用者本位の福祉サービス	<p>評価：A  法人全体で人権擁護、虐待防止、プライバシー保護についての周知を行い、利用者が安心かつ主体的に活動できるための仕組み作りと満足の向上を目指す支援の取り組みを行った。毎月面談の機会を設け各個人の意見を聞き支援に反映している。コミュニケーション方法の考慮をおこなう。</p>
III-2 サービスの質の確保	<p>評価：A  日々の取り組みの中で必要に応じてケースカンファレンスを実施し、職員全体に課題と取り組みを周知し、支援の統一を図ることで適切なサービスが提供出来る様に取り組んでいる。</p>
III-3 サービスの開始・継続	<p>評価：A  ホームページ及び事業所玄関に法人及び事業所の概要を掲載し、誰でもサービスの概要が分かるよう努めている。サービス開始の際には、契約書、重要事項説明書他資料を提示し分かりやすく理解してもらうように、丁寧に説明を行っている。</p>
IV-1 利用者に応じた個別支援プログラム	<p>評価：A  地域生活支援センター等との連携を行い、事業所見学・実習を実施した上で利用者、家族の要望を確認し、個別支援計画の策定、見直しを行い、その内容を説明、承諾を得ている。保護者とは電話・メール等を用い、確認や情報共有を行っている。  退所後の必要な支援の強化をおこなう。</p>
IV-2 日常生活支援サービス	<p>評価：A  リフレッシュや学習の機会として、外出、学習会、慰労会等の企画も利用者の意見を盛り込み計画している。  健康管理が必要な方には、通院等への促しをおこなっている。</p>
V-1 生活環境の整備	<p>評価：  日中活動事業のため該当項目なし。</p>
VI-1 緊急時の対応	<p>評価：B  対応マニュアルは、全職員に配布・周知を図るとともに火災警報器付近に常備している。  年2回の避難・通報・消火訓練を行い、消防署への報告を行っている。</p>

VII-1 就労意欲の醸成	評価：A 個々の作業レベルに対応するため、作業工程の細分化、補助具の作成等に取り組み、安定した作業参加と作業効率の向上を図っている。就労に関連した学習会等を行い、利用者のマナー・就労意欲の向上に努めている。 一般就労を希望される利用者に対し、地元企業での実習や必要な支援を行っている。
---------------	--

- \* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や、未実施の場合はその理由など評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。
- \* 「VII-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。